

# ◆天恩寺歴史◆

## 見返りの大杉

### 【天恩寺の歴史】

足利尊氏は本尊延命地蔵に戦勝祈願をし、戦に勝利したら寺院を築くことを誓った。だが約束を果たす事が出来ず、遺言をたくされた室町幕府第3代將軍足利義満により、1362年に建立されたと伝えられている。13世紀に足利義満が、室町幕府の三河守護として、ここに拠点を構えて以降、西三河は足利氏の第2の本拠点となった。



## 歴史的

## 大発見じゃあ

### 分かったこと

1575年、家康公が長篠城へ向かう際に、天恩寺で泊まった。翌朝、出発しようとした際、大杉の下で本尊の延命地蔵に呼び止められ、ふりかえると、大杉の影から矢を射ろうとする刺客が目に入った。それにより家康は命拾いをした。家康公は延命地蔵へ礼をし、何度も大杉を見返りながら長篠へ向かったと言われている。

仏殿は重要文化財  
山門も重要文化財  
見返りの大杉は天然記念物

## 発見



## 重要文化財

## 山門

## 重要文化財

## 仏殿

右の写真は天恩寺の山門で、南に面して作られた「薬医門」(やくいもん)で、重要文化財として名を残している。

